

OMA GotAPI 標準化作業状況アップデート

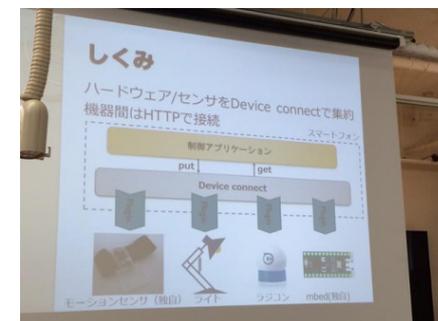
2016年2月5日

2015/10/7 CEATEC2015にて、GotAPIを利用した出展

- セイコーエプソン社:モベリオ+THETA
- Vuzix社:遠隔作業支援
- MA11ブースでの「なりきり2.0」

2015/11/18 マッシュアップアワード11(国内最大規模のアプリコンテスト)

GotAPIを利用した作品「なりきり2.0」が431作品中で3位入賞



2015/11/19 久留米高専での出張授業

GotAPIを利用したハンズオン形式でのデバイス体験

2015/11/26,27 NTTドコモ R&Dオープンハウス

- ソニーCSL社:Kadecot、EchonetLite連携デモ
- オムロン社:HVC-C2W
- Gclue社:Fabo
- ドコモ:家電連携デモ

2016/2/16,17 WebRTCカンファレンスJapan

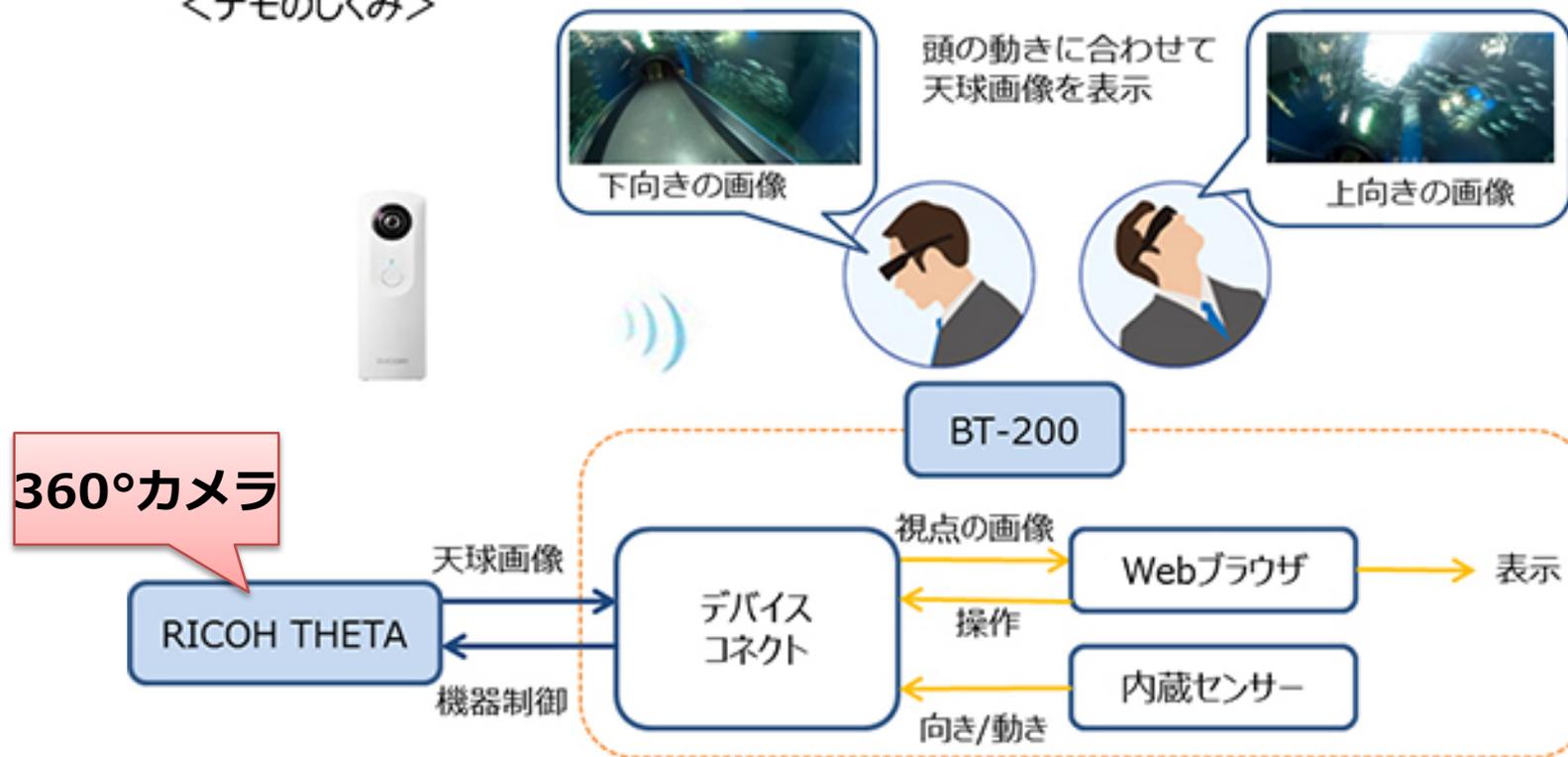
GotAPIを利用した映像中継デモ出展を計画中

2016/2/29-3/4(予定) HIMSS 2016(ラスベガス,ヘルスケア関連の展示会)

PCHAブースにて富士通社(OMA)がデモを予定

エプソンが「デバイスコネクトWebAPI」を活用した
MOVERIO『BT-200』による360° Viewのコンセプトを実証
～ エプソン、NTTドコモ、リコーの3社連携デモンストレーション ～

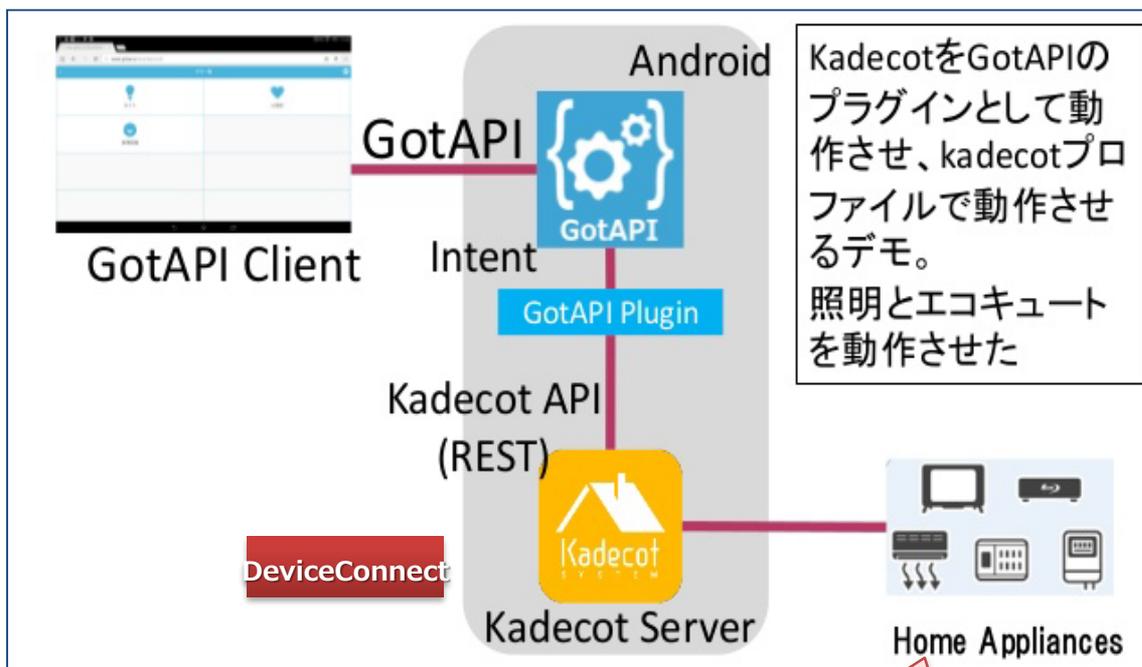
<デモのしくみ>



エプソン社 2015/10/1プレスリリースより

10月にエプソン社からプレスリリース、CEATEC2015のエプソン社ブースにて展示

- ・スマートハウス向けのミドルウェアアプリ「KADECOT」にてGotAPI(デバイスコネク
t WebAPI)連携機能を提供
- ・今後、実装レベルでの連携も計画中



KadecotをGotAPIのプラグインとして動作させ、kadecotプロファイルで動作させるデモ。
照明とエコキュートを動作させた

EchonetLite機器
ブラビア等

生活デザインアプリコンテスト
for ENEX 2016
人気投票を実施

life design
lifedesign-app.org

1. 生活デザイン賞 10万円	2. 機械学習賞 10万円	3. コンセプト賞 10万円
--------------------	------------------	-------------------

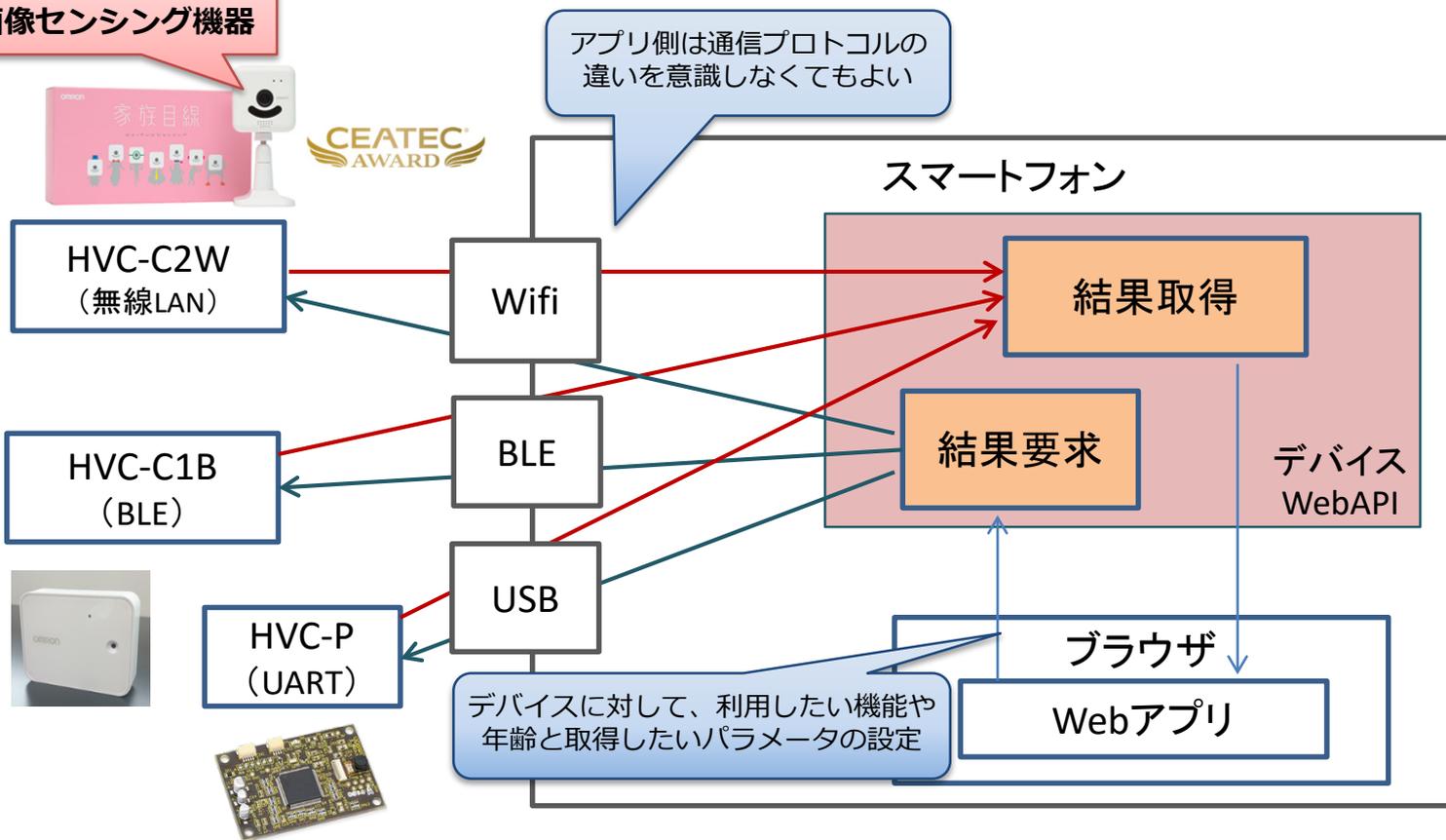
募集期間 2015/11/14 ~ 2016/1/14

アプリコンテストでも連携中

HVCシリーズ:UART、BLE、Wifi接続の顔認識モジュール

- ・ 通信の仕組みに関係なく、Webブラウザから利用可能に
- ・ SDK等の準備・理解を不要に

人の状態を認識する
画像センシング機器



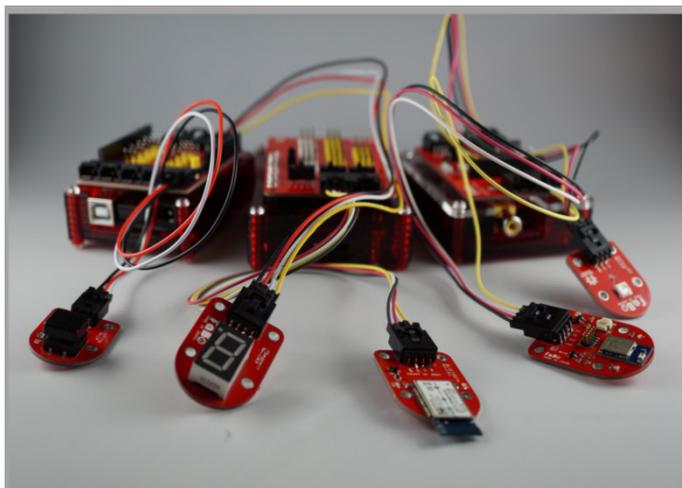
※現状はHVC-C1B(BLE)のみ対応

- FaBo: 様々な機能モジュールを繋ぎ合わせて使うことができるIoTハードウェア
- デバイスコネクでLEDやセンサー、ボタンといった機能利用を簡単に

様々なセンサー等のIoT機器



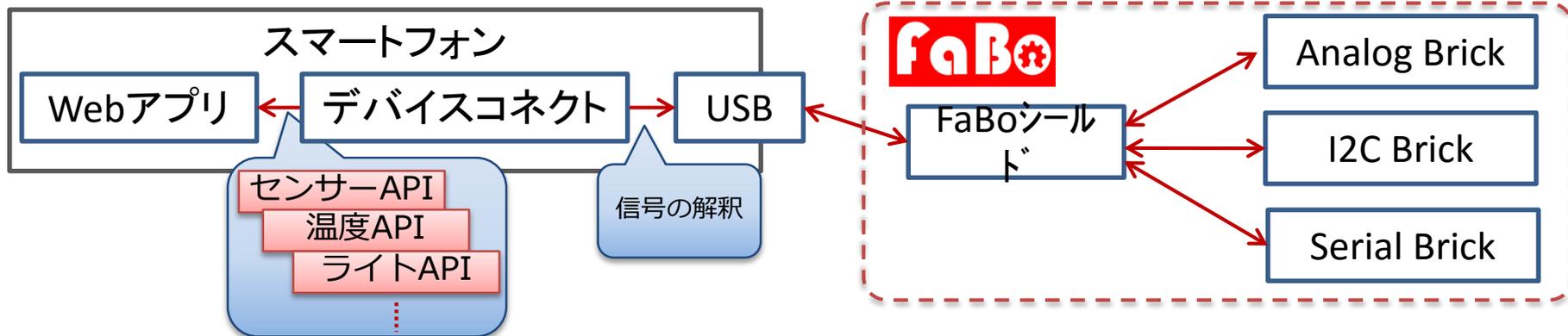
<http://fabo.io/>



ケーブルで装着し、すぐに動作



多彩なモジュール群



- **GotAPI 1.1策定**
 - GotAPI 1.0にWebSocketを追加
 - 2016年11月Candidateリリース
- **健康機器のDevice WebAPI標準化**
 - IEEE 11073をベースとして優先度の高い7種のデバイスAPIをまず定め、PCHA(Personal Connected Healthcare Alliance)のガイドラインでの採用を目指す。PCHAの2016年リリースへの採用を目指している。PCHA側進捗は良好
 - (1) Thermometer API、(2) Pulse Oximeter API、(3) Weight Scale API、(4) Body Composition Analyzer API、(5) Blood Pressure API、(6) Glucometer API、(7) Heart Rate Electrocardiogram API
 -
- **3DプリンタのDevice WebAPI標準化**
 - 韓国の団体KWISA(Korean Wireless Internet Solution Association)とETRI主導で、GotAPI配下で使う3DプリンタのDevice WebAPI策定作業推進中。標準化による3Dプリンタ普及が望まれている。

OMA最新仕様ドラフトの一覧をデバイスWebAPIコンソーシアムのWebサイトに公開しました。

- <http://device-webapi.org/link.html#oma-draft>

仕様書の説明

仕様書	概要	備考
GotAPI 1.0	2015年2月にCandidate リリースされた	
GotAPI 1.1	非同期通知等様々な利用ができるWebSocketをGotAPI 1.0に追加 6月会合で策定合意、1月会合でCandidate承認	
DWAPI-PCH	GotAPI配下で健康機器を使うための7種のデバイスAPI (1)Thermometer, (2)Pulse Oximeter, (3)Weight Scale, (4)Body Composition Analyzer, (5)Blood Pressure, (6)Glucometer, (7)Heart Rate Electrocardiogram IEEE 11073をベース PCHA (Personal Connected Healthcare Alliance)のガイドラインでの採用を目指す 2月Consistency Review、4月頃Candidateリリース予定 これ以外の機器の策定については市場の要望次第	<ul style="list-style-type: none"> 11月OMA-PCHAで合同会合開催し、協議 PCHA 2016年リリースへの採用目指す PCHA側進捗良好
DWAPI-3D_PTR	韓国企業より3DプリンタのDWAPI作成が提案され、6月会合で策定が合意された。5月会合でCandidateリリース予定。 3Dプリンタ以外のデバイスに展開される可能性がある	韓国企業主導

DWAPI: Device WebAPI

PCH: Personal Connected Healthcare

RD: Requirement

AD: Architecture

TS: Technical Spec.

スケジュール

